

# 学生寮調査報告

## －学生寮の生活環境及び人間関係に着目して－

桂 瑠以

お茶の水女子大学 学生支援センター

## Survey Report on Living Environment and Relations Among Students Living In Residence at University

Rui KATSURA

Ochanomizu University Students Support Center

Targeting students living in residence at Ochanomizu University in central Tokyo, this survey aimed to examine awareness and satisfaction regarding living environment and interpersonal relationships in order to provide more effective support based on the students' situation and needs. The results were as follows. 1) The degree of satisfaction regarding the dormitories' facilities and amenities tended to be generally high among students living at the dormitory called Ochanomizu University SCC and generally low at Ochanomizu University International House and Koishikawa Residence Hall. 2) Many students knew about matters such as dormitory rules and accommodation fees, but at Koishikawa Residence Hall in particular, many students were unsatisfied with the rules (due to, for example, changes in curfew). 3) Students were generally unaware of matters such as dormitory administrative structure and measures to be taken in case of emergency, suggesting the need to make such information better known in all dormitories. 4) Regarding interpersonal relationships with other students living in residence, while a variety of chances for interaction exist at Ochanomizu SCC, there are few opportunities for such interaction at Ochanomizu University International House or Koishikawa Residence Hall.

**keywords** : student dormitory, living environment, human relationships, awareness, degree of satisfaction, residence at dormitory

### 目的

日本の大学の学生寮は、かつて主流だった「相部屋型」から「個室型」へと変化し、さらに近年では、「ルームシェア型」の学生寮も見られ、その機能は多様化している。このような学生寮の変化・多様化は、時代背景に伴い、学生寮に求められるものが変化しており、今日では経済的支援にあわせて、教育的支援も求められてきていることを反映している。こうしたニーズを踏まえ、お茶の水女子大学でも、新たな学生寮を建設し、既存寮との機能分化を行った。

お茶の水女子大学には、大学院生を対象とした小石川寮(定員80名、自治寮)と、学部生及び留学生を対象とした国際学生宿舎(定員400名、自治寮)という2つの既存寮がある。そして新たに平成23年度より、学部1,2年生を対象とした新寮「お茶大SCC(Students Community Commons)」(定員50名)が開寮した。

これら3つの学生寮は、対象とする学年や寮の規模、立地等の違いの他、小石川寮、国際学生宿舎は個室型寮である一方、お茶大SCCは、5人で1つの「ハウス」を形成し、ハウスでの共生・協働をするルームシェア型寮であり、コンセプトも異なっている(3つの寮の詳細については、赤坂(2010)、鈴木・元岡・桂(2012)を参照)。こうしたコンセプトの違いにより、各寮での生活実態や満足度にも違いが生じる可能性があるが、3つの学生寮を比較検討する調査は、未だ行われていない。

そこで、本稿では、3つの学生寮の寮生を対象に、生活実態や満足度を調査して、比較検討することを目的とする。具体的には、寮に関する情報、施設・設備、寮費や寮の規則、寮の運営機関、非常時の対応、対人関係など多岐にわたるもので、いずれも、寮生の実情をふまえ、本学の学生支援活動をより効果的に実行するための基礎資料として活用することを目的とする。

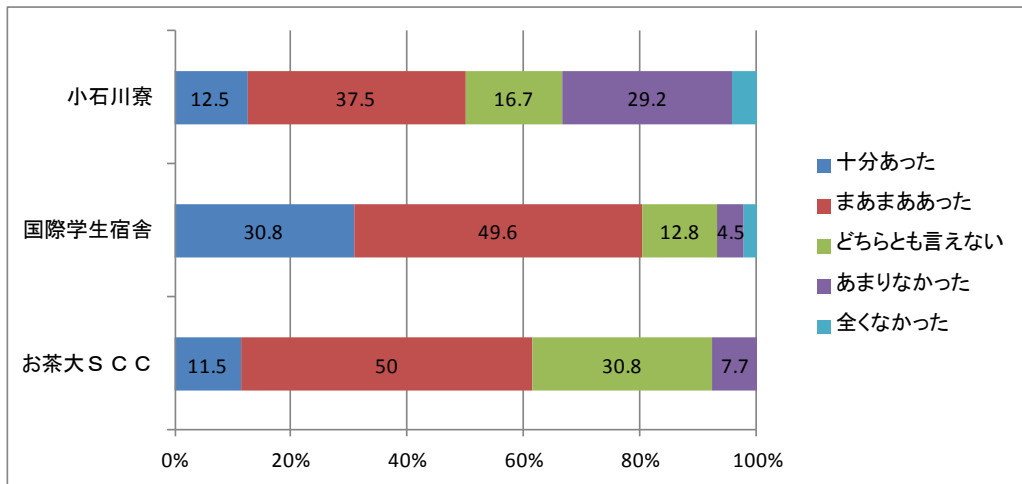


Figure1 寮に関わる諸経費

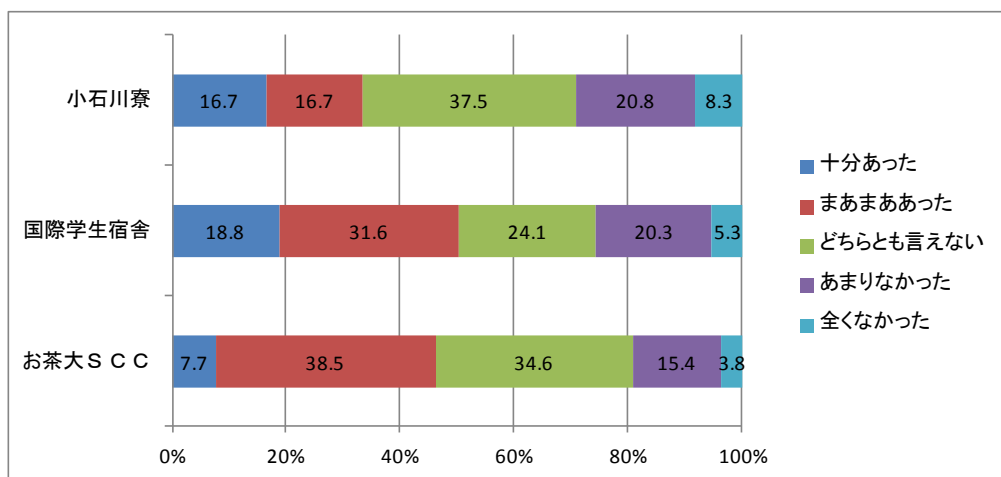


Figure2 寮の施設や設備

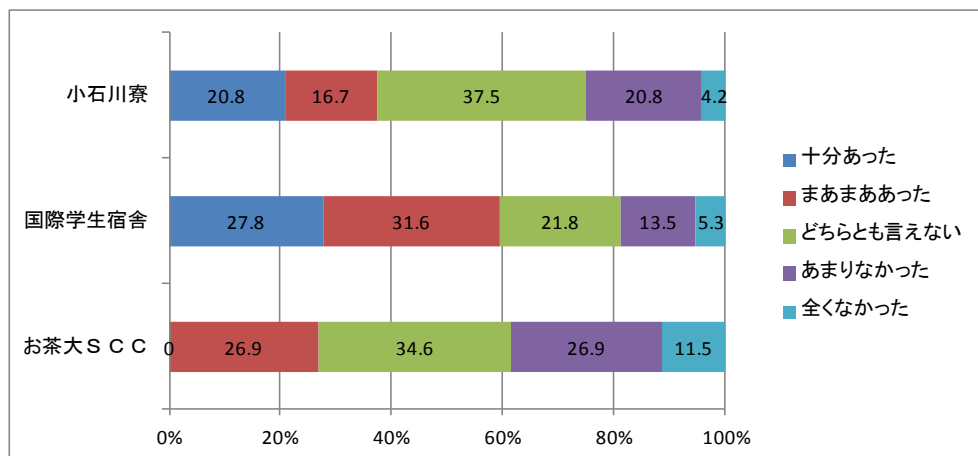


Figure3 部屋の設備や家具

#### 方法

石川寮寮生 24 名 (36.3%)、国際学生宿舎寮生 133 名(33.2%)、お茶大 SCC 寮生 26 名(53.0%)であった。

#### 調査時期と調査対象者

2011 年 11 月～ 12 月に、お茶の水女子大学学生寮寮生 515 名を対象として調査を実施した。有効回答数は 183 名 (35.5%) であり、各寮での内訳は、小

#### 調査方法

調査対象者に個別記入形式の質問紙を配布し、各学生寮に回収箱を設置して、回収を行った。

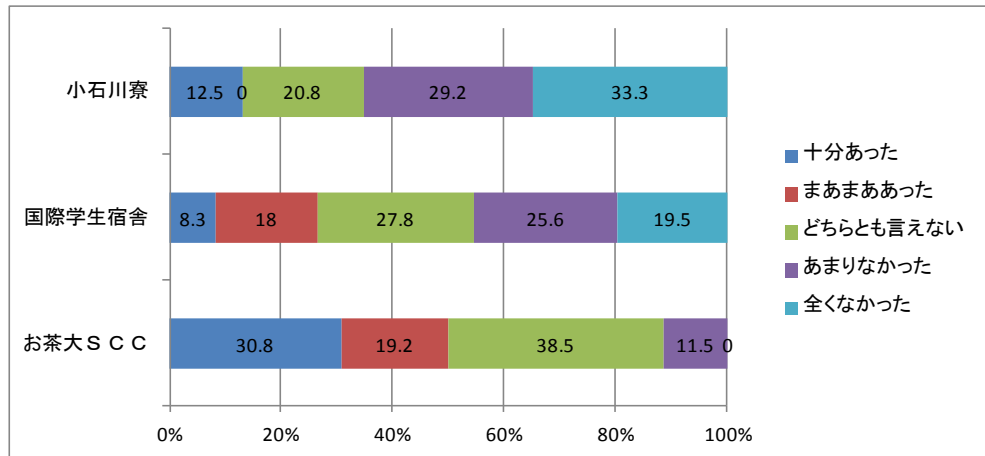


Figure4 寮内でのインターネットの利用

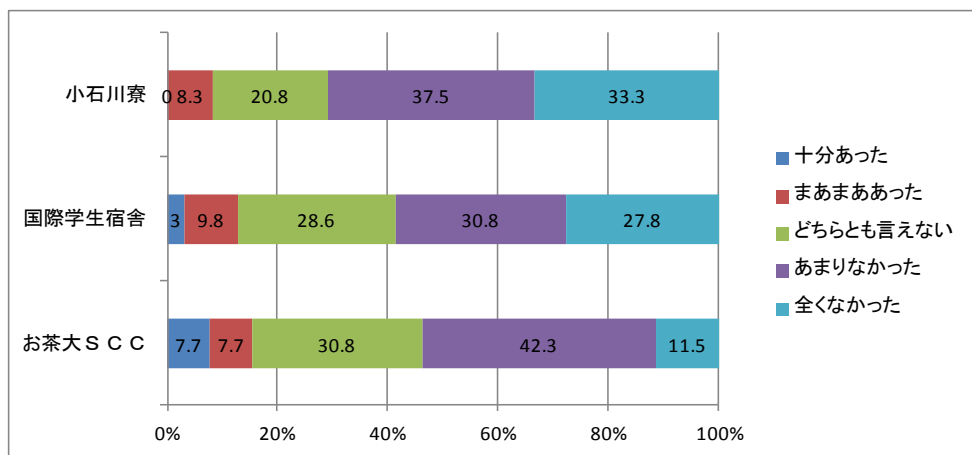


Figure5 寮の管理システム

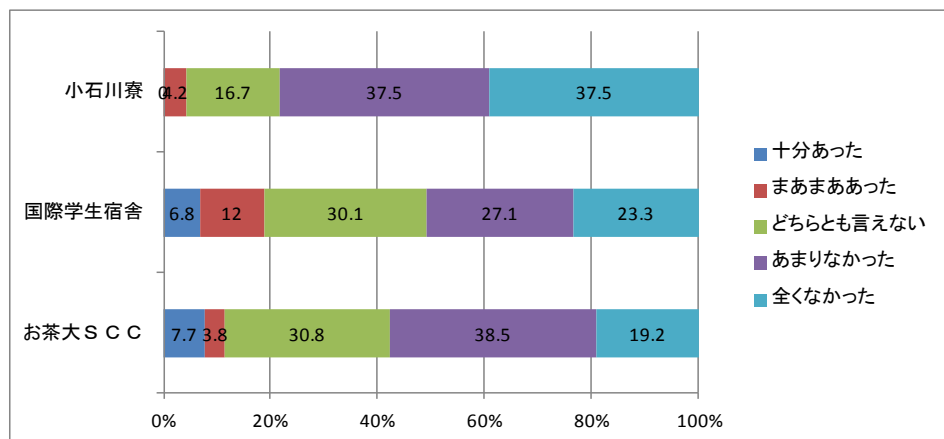


Figure6 寮のルールや規則

調査項目

「寮に関する情報」8項目、「施設・設備に関する満足度・要望」10項目、「寮費や寮の規則に関する認知度・満足度」6項目、「寮の運営機関に関する認知度・要望」5項目、「寮内での非常時の対応の認知度」2項目、「寮内の対人関係」3項目について回答を求めた。

結果と考察

寮に関する情報

入寮前に、学生寮についての下記の情報をどの程度受け取っていたかを尋ねた。その結果、寮に関わる諸経費は、情報が「十分あった」「まあまああった」が過半数であり、全般的に情報があったことが示された

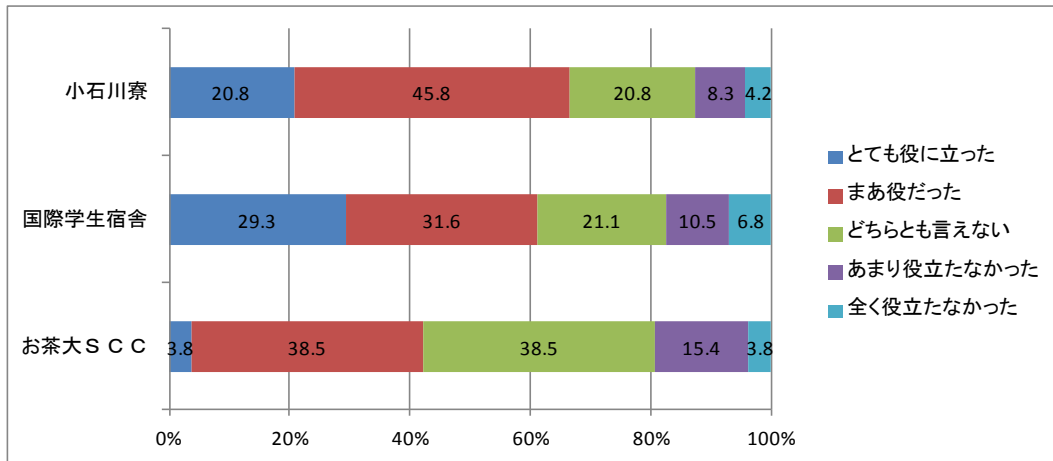


Figure7 ホームページの情報

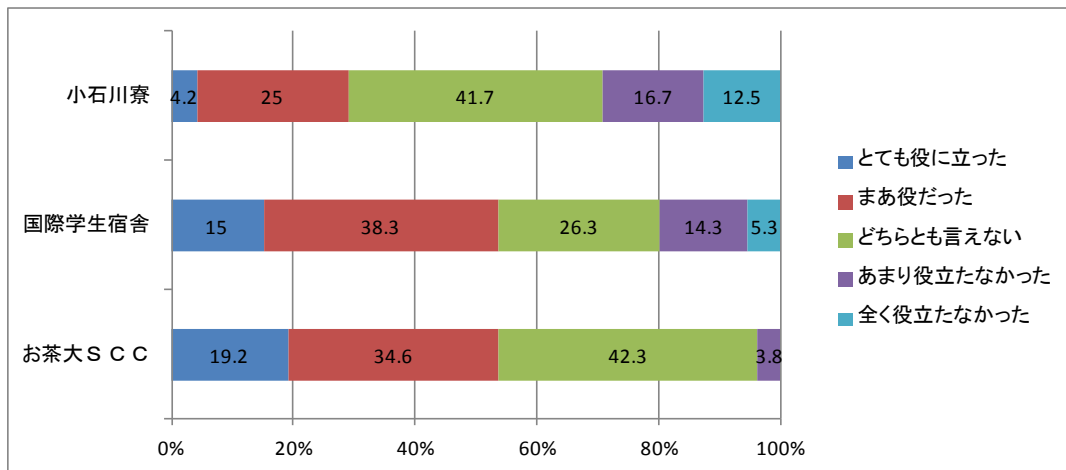


Figure8 印刷物（寮規程、ガイドブック等）

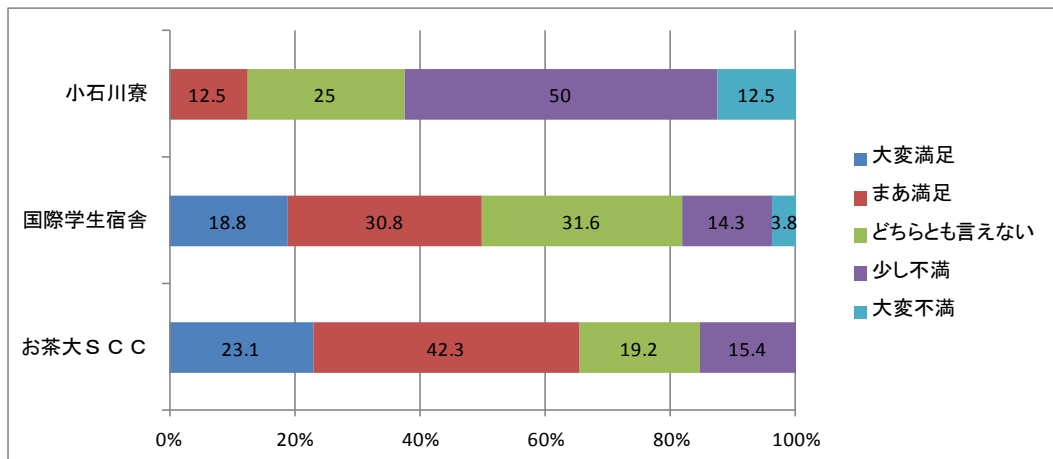


Figure9 居室全般（広さ・明るさ・清潔さなど）

(Figure1)。一方、寮の管理システムや寮の規則は「あまりなかった」「全くなかった」が過半数であり、全般的に情報が少ないことが示された (Figure5, 6)。したがって、これらの情報についても、学生寮のホームページや配布資料等で、分かりやすく明示していくことが必要と考えられる。

次に、寮に関する情報媒体が寮生活に役立ったかを

尋ねた。その結果、寮ごとに見ると、ホームページについては、小石川寮、国際学生宿舎では「とても役立った」「まあ役立った」という回答が過半数だったが、お茶大 SCC では 40% 程度と低い傾向が示された (Figure7)。一方、印刷物については、国際学生宿舎、お茶大 SCC では過半数だったが、小石川寮では 30% 程度と低い様子が示された (Figure8)。

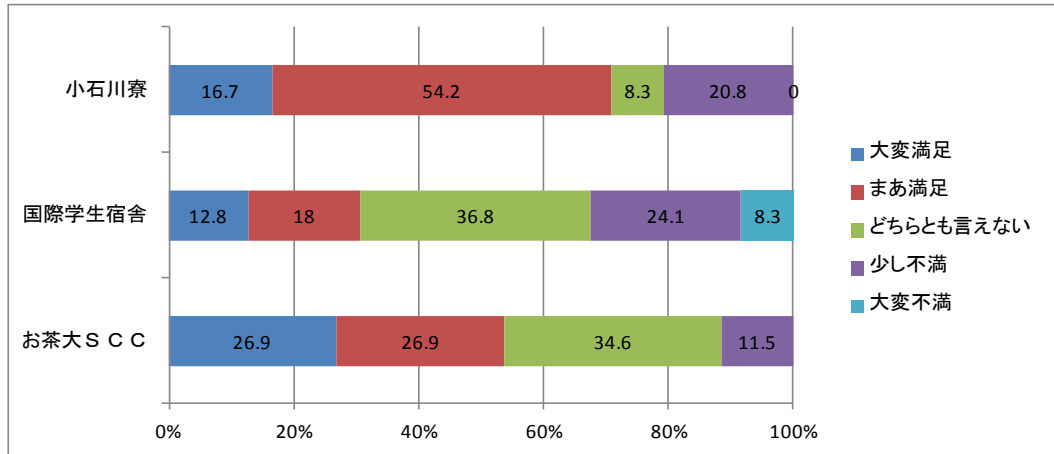


Figure10 浴室

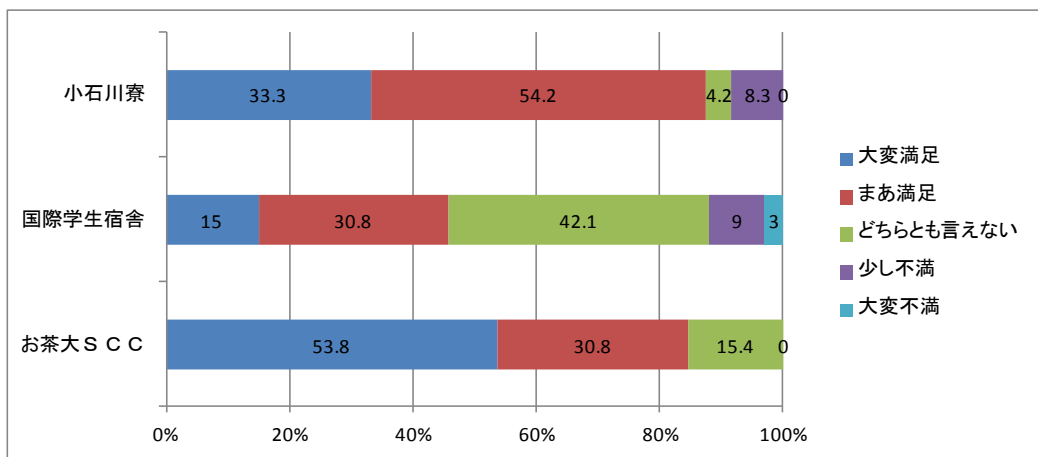


Figure11 トイレ

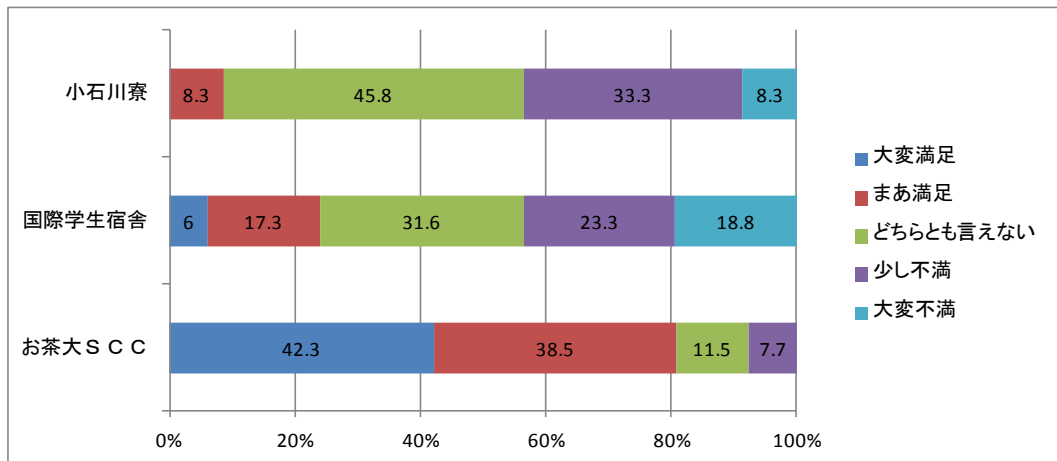


Figure12 ハウスリビング (SCC)・補食室 (国際・小石川)

施設・設備の満足度・要望

居室や以下の設備への満足度について尋ねた。その結果、寮ごとに見ると、小石川寮では浴室、トイレの満足度は高いものの、居室、補食室の満足度は低く、国際学生宿舎では全般的に満足度が低く、お茶大SCCでは全般的に満足度が高いことが示された (Figure9～12)。満足度が低い理由として、自由記述

では、居室の狭さや古さ等の設備の問題や、浴室や補食室の使い方が悪い、騒ぐなどの迷惑行為等の使い方の問題が挙げられた。このことから、設備と使い方の両方の改善を行っていくことが求められているといえよう。次に、以下の共有スペースへの満足度を尋ねた。その結果、ゴミ置き場、メールボックスは、全ての寮で満足という回答が過半数であり、全般的に満足

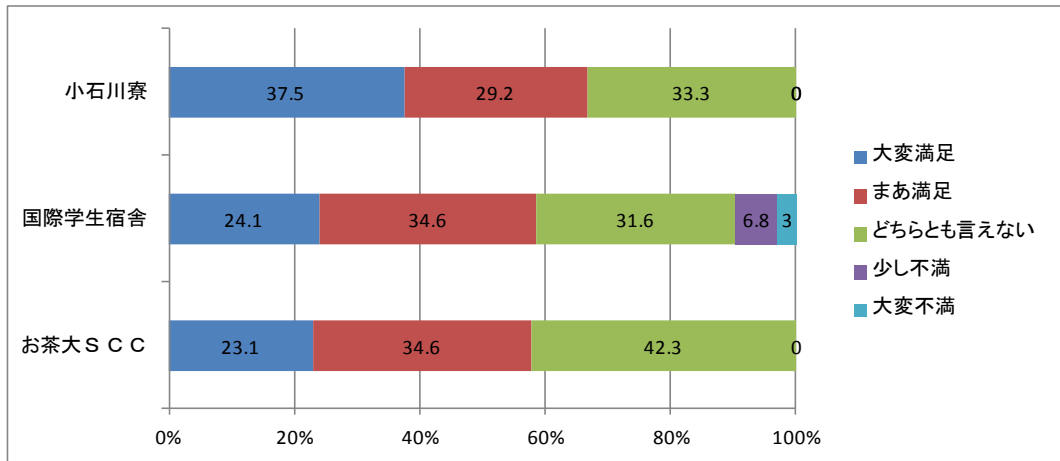


Figure13 ゴミ置き場

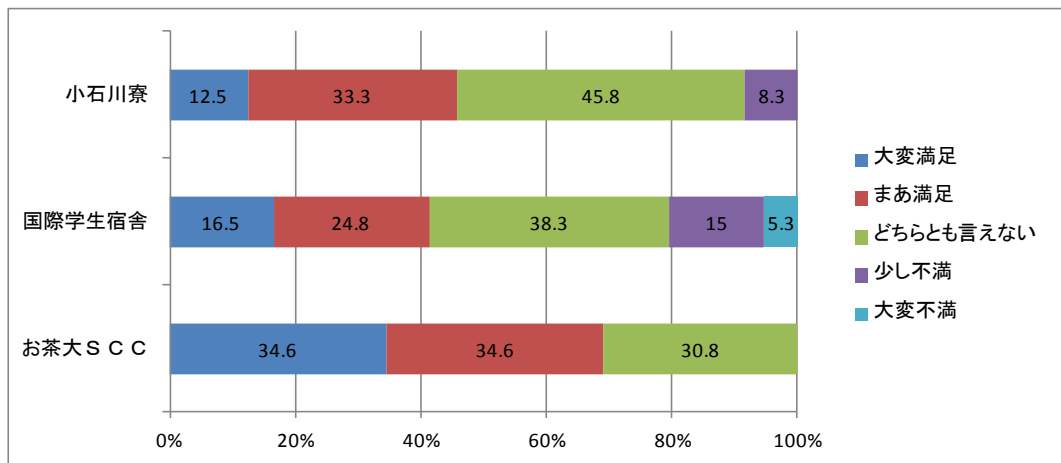


Figure14 洗濯室

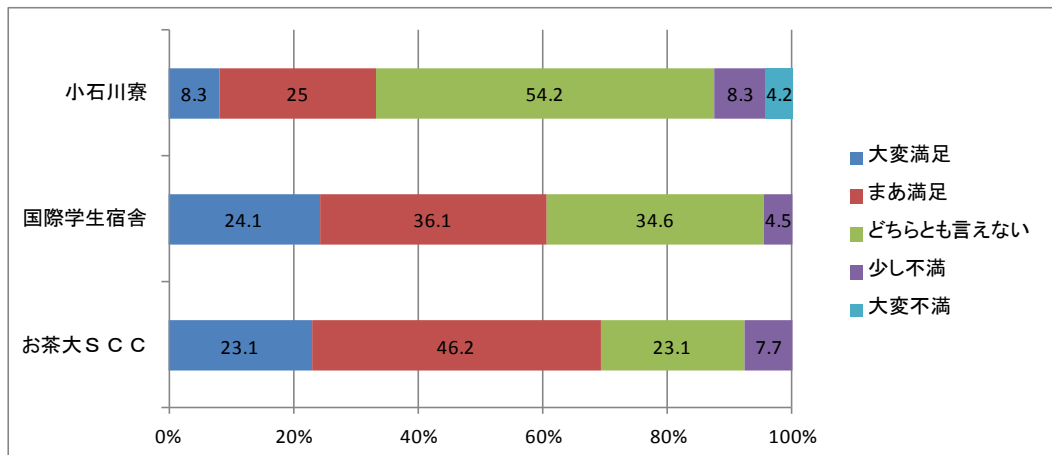


Figure15 エントランス

度が高いことが示された (Figure13～18)。寮ごとに見ると、お茶大 SCC では全般的に満足度が高い一方、小石川寮ではエントランス、駐輪場の満足度が低く、国際学生宿舎では洗濯室の満足度が低いことが示された。

#### 寮費や寮の規則の認知度・満足度

寮費や寮の規則をどのくらい認知しているか、またどのくらい満足しているかについて尋ねた。以下の規則の認知度を尋ねた結果、すべての規則について、過半数の回答者が知っていると回答していることが示された (Figure19～22)。このことから、規則については、多くの寮生が認知しているものと考えられる。

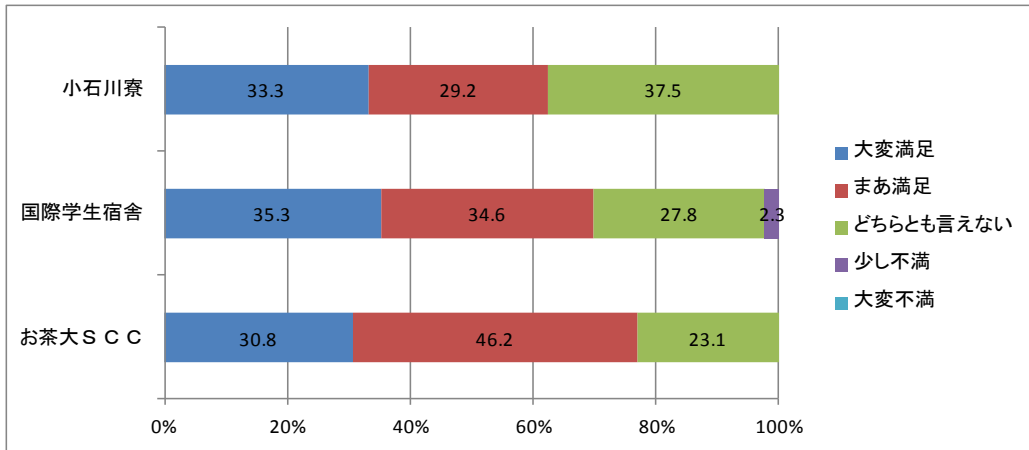


Figure16 メールボックス

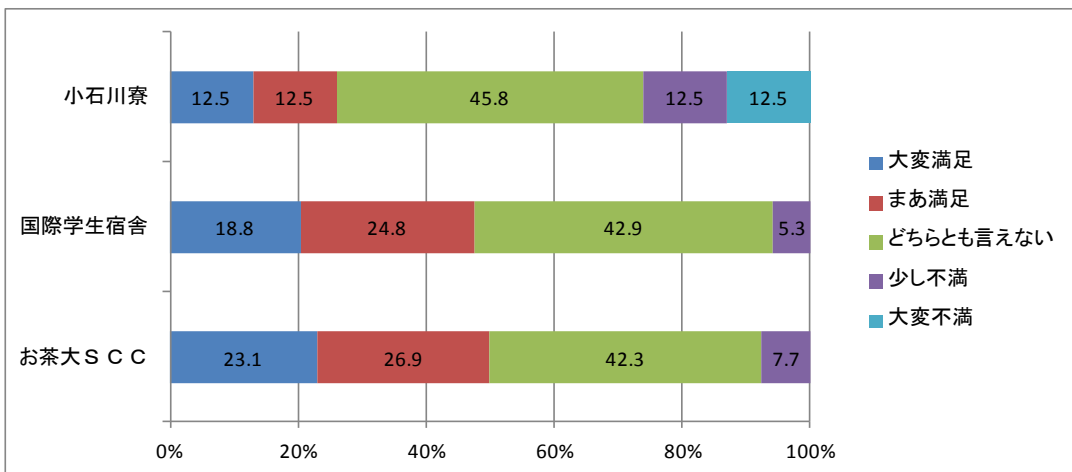


Figure17 駐輪場

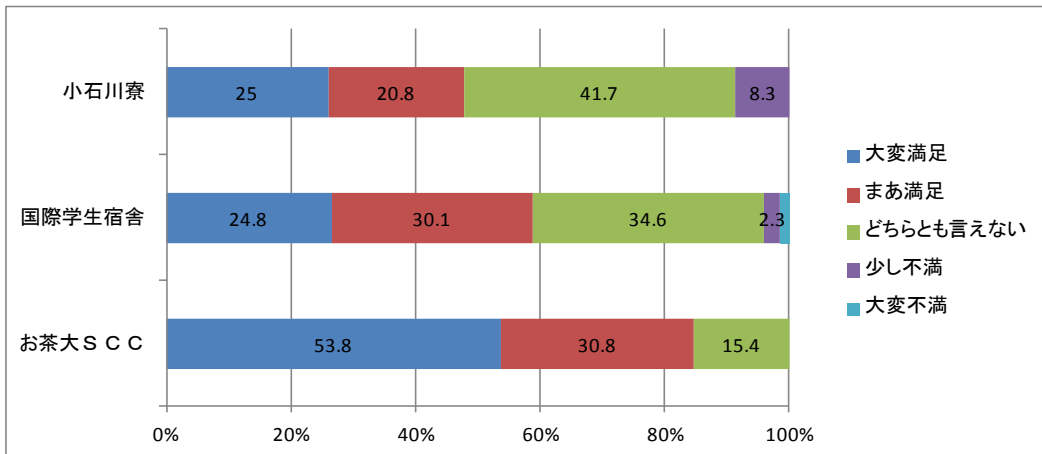


Figure18 共有ラウンジ・ロビー・ホール

次に、寮費、寮の規則の満足度を尋ねた結果、寮費の満足度は全般的に高い一方、寮の規則の満足度は、お茶大 SCC では 53.9%、国際学生宿舎では 42.1%、小石川寮では 29.2%が「大変満足」及び「まあ満足」と回答していることが分かった (Figure23 ~ 24)。自由記述では、門限、寮費などの規則の改善や、設備や備品の使用のルールが守られていないといった使い方

の問題が挙げられており、こうした規則について、寮生のニーズも聞きながらルールを見直し、明示していく必要があると考えられる。

#### 寮の運営機関の認知度・要望

以下の寮の運営機関を認知しているかについて尋ねた。その結果、(小石川寮、国際学生宿舎の)自治会、

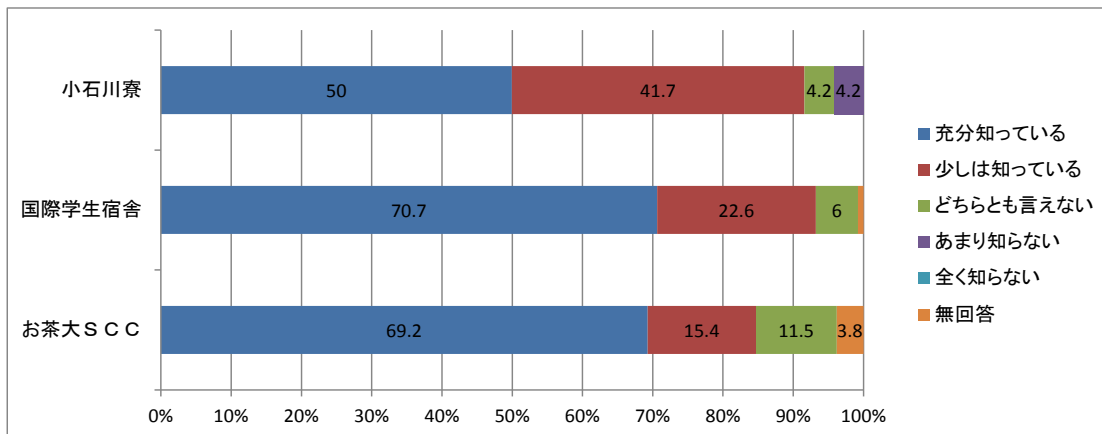


Figure19 門限の規則

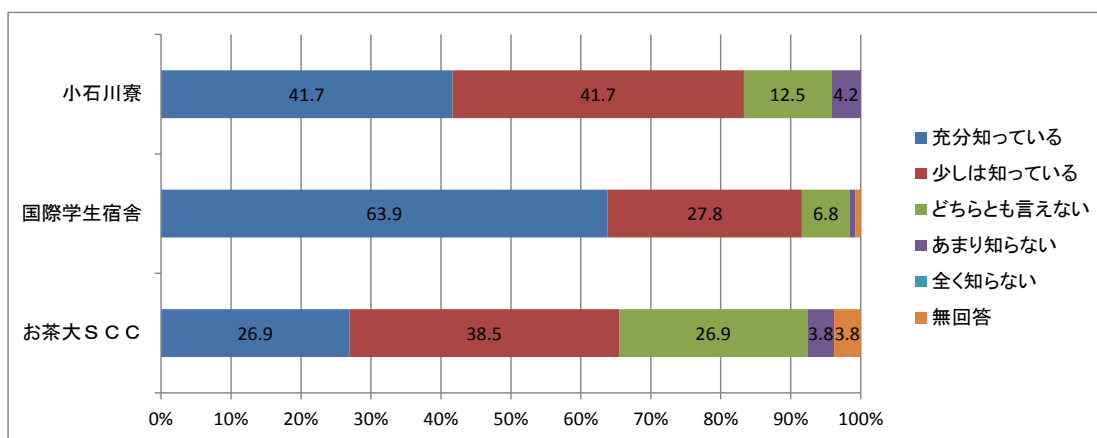


Figure20 寮費の規則

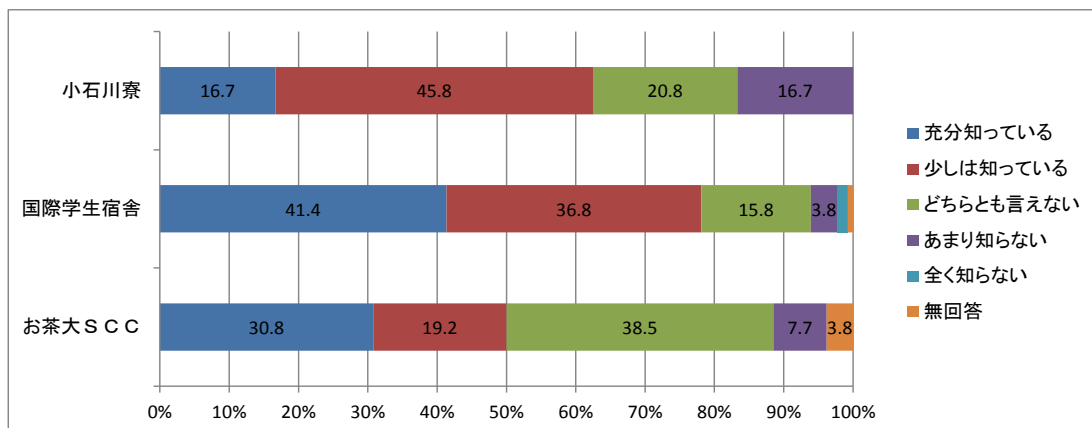


Figure21 共有施設・設備の使用の規則

(お茶大 SCC の) 学寮アドバイザーの認知度はある程度高いものの、管理人、警備員は、小石川寮、お茶大 SCC ではあまり認知されておらず(それぞれ、管理人; 25%、30.8%、警備員; 25%、7.7%)、学生・キャリア支援チームは、全ての寮であまり認知されていないことが示された(それぞれ、25%、30.8%、19.2%)(Figure25～29)。これらの運営機関は、寮

で個々の重要な役割を担っており、どの機関がどのような役割をしているかを寮生に理解される必要があるため、今後、それぞれの役割について周知していく必要があると考えられる。

また、要望として、自由記述では、①寮生への対応の改善、②自治会の負荷が大きすぎる・自治会自体が必要なのかという疑問などが挙げられた。



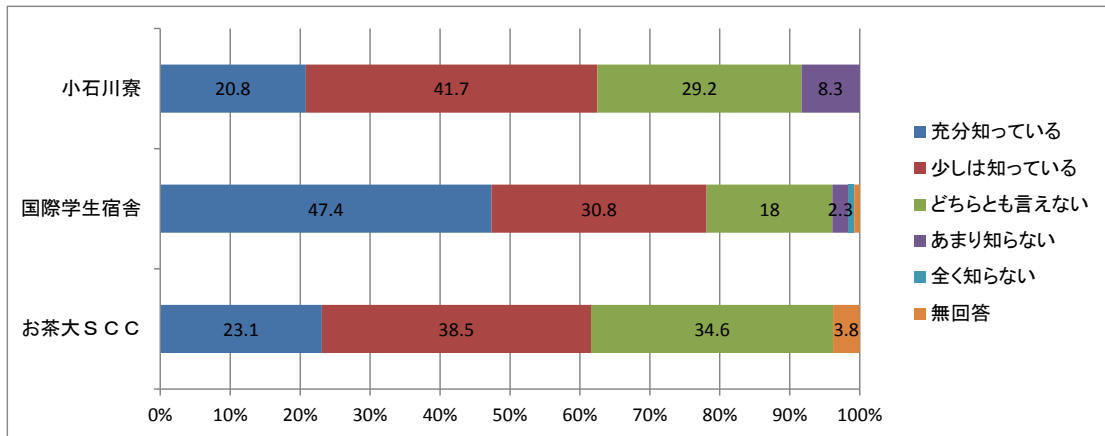


Figure22 ゴミ処理の規則

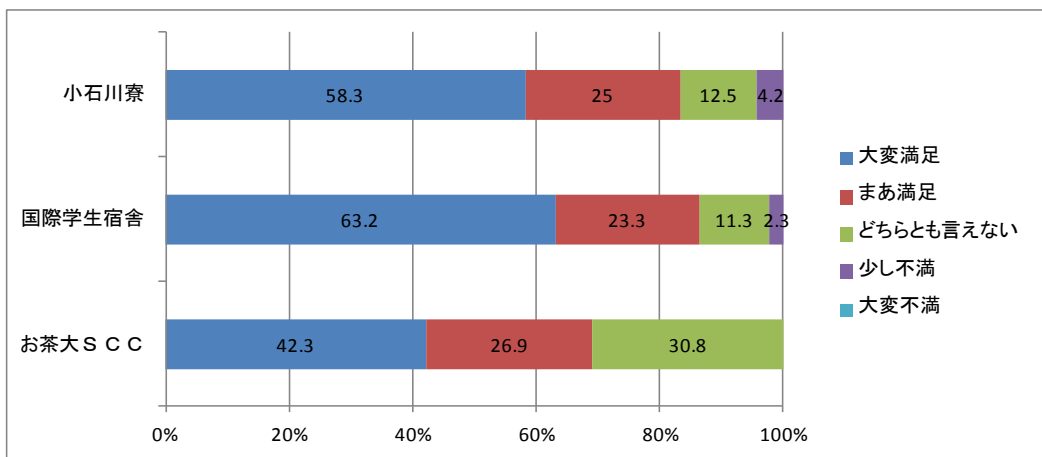


Figure23 寮費の満足度

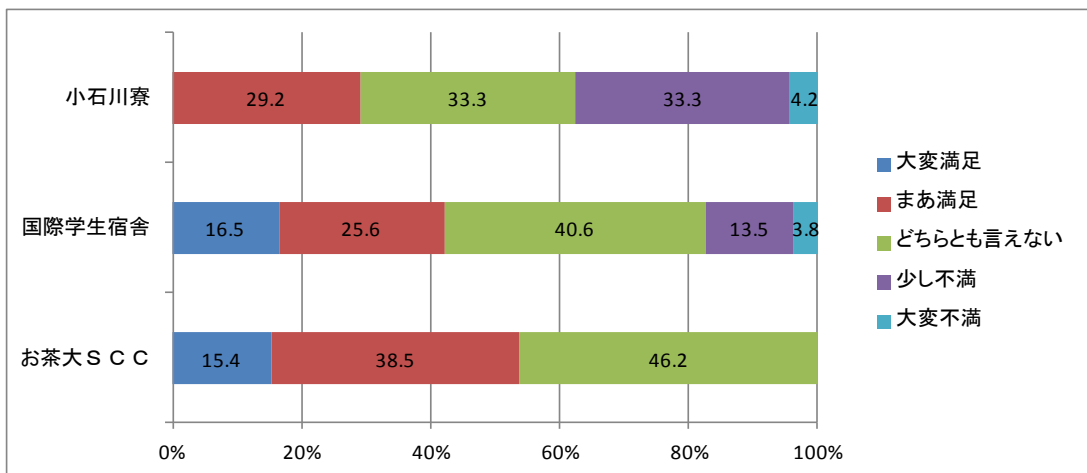


Figure24 寮の規則の満足度

寮内での非常時の対応の認知度

寮内での非常時の対応について知っているか尋ねた。その結果、災害時の対応を十分知っているとは回答した者はどの寮でも少なく（それぞれ0%、13.5%、0%）、病気になった時の対応も十分認知されていないことが示された（それぞれ0%、9%、0%）(Figure30～31)。したがって、これらの対応について、今後各

寮で周知を徹底させていくことが必要と考えられる。

寮内の対人関係

寮内での対人関係について、以下の交流をどのくらい行っているか尋ねた。その結果、全般的に、お茶大S C Cでは交流が多く行われている一方、小石川寮や国際学生宿舎では、補食室などの共有スペースで一

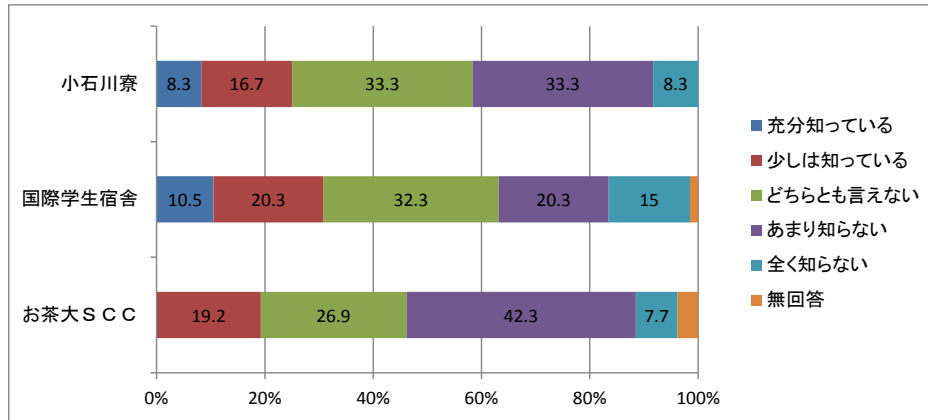


Figure25 学生・キャリア支援チーム

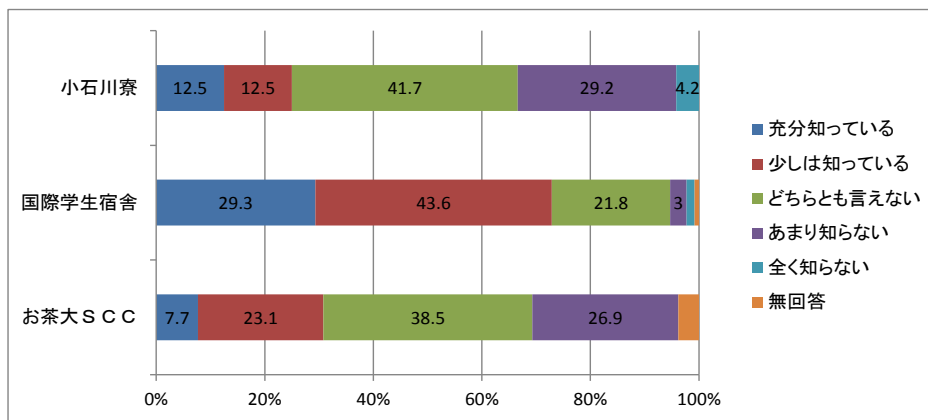


Figure26 管理人

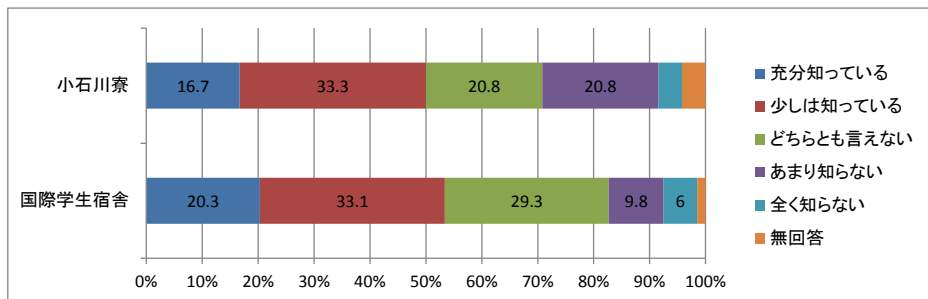


Figure27 自治会 (国際学生宿舎・小石川寮のみ)

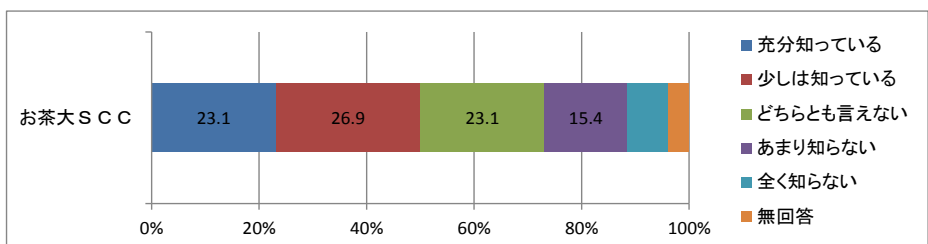


Figure28 学寮アドバイザー (SCCのみ)

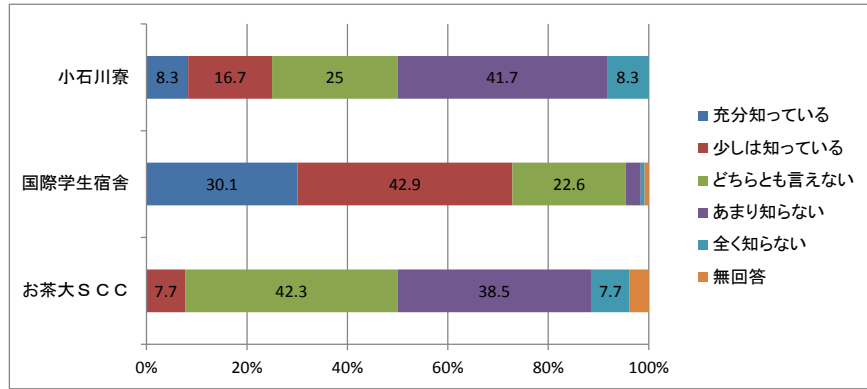


Figure29 警備員

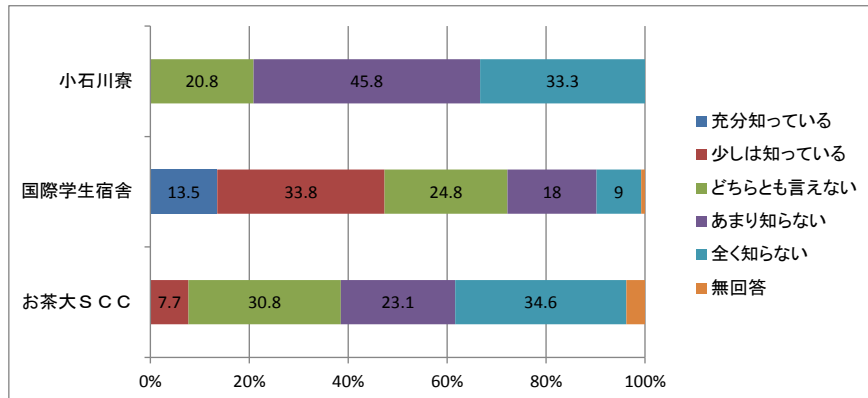


Figure30 災害時の対応

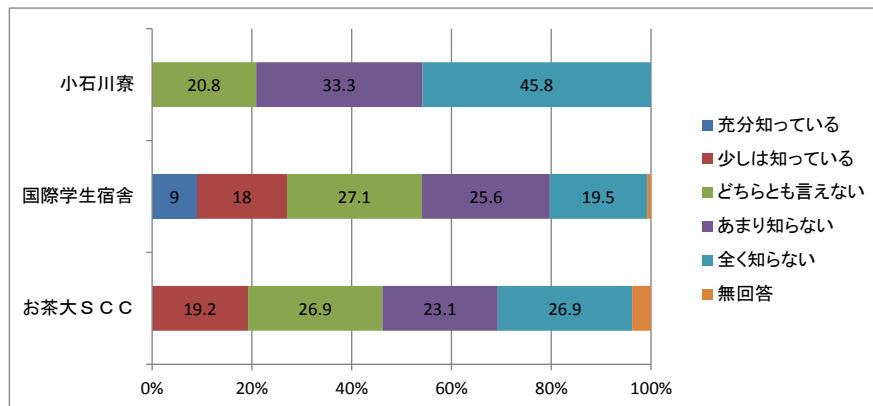


Figure31 病気になった時の対応

緒に過ごす機会がとてもあると回答した者はそれぞれ16.7%、9.8%であり、行事やパーティーなどを一緒に楽しむ機会がとてもあると回答した者はそれぞれ4.2%、4.5%で、こうした交流の機会が少ないことが分かった (Figure32 ~ 34)。これは、それぞれの寮の

特色を反映しているものと考えられるが、小石川寮や国際学生宿舎でも、行事やパーティーを行う機会がもう少しあったほうが良いという自由記述も見られることから、寮内で希望者を募って交流する機会を持つこともよいのではないかと考えられる。

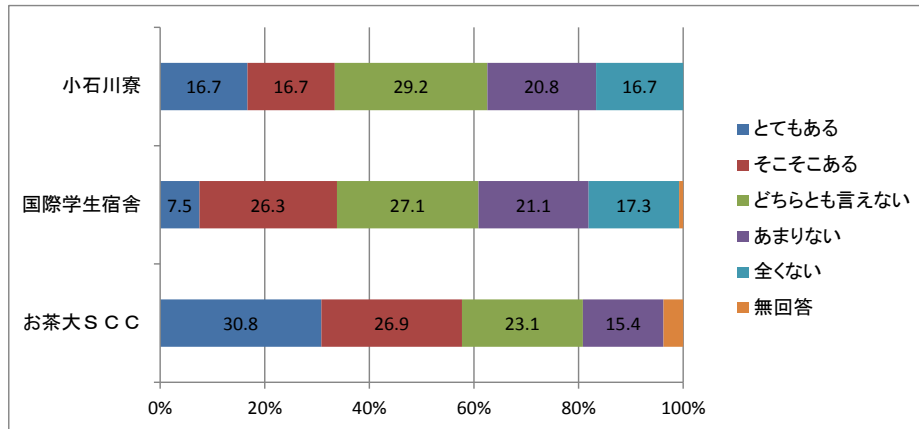


Figure32 世間話などをする

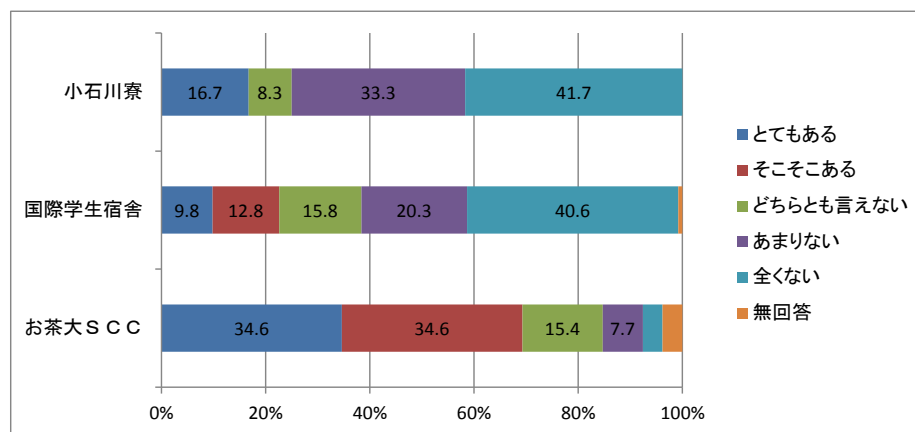


Figure33 補食室（ハウス）などの共有スペースで一緒に過ごす

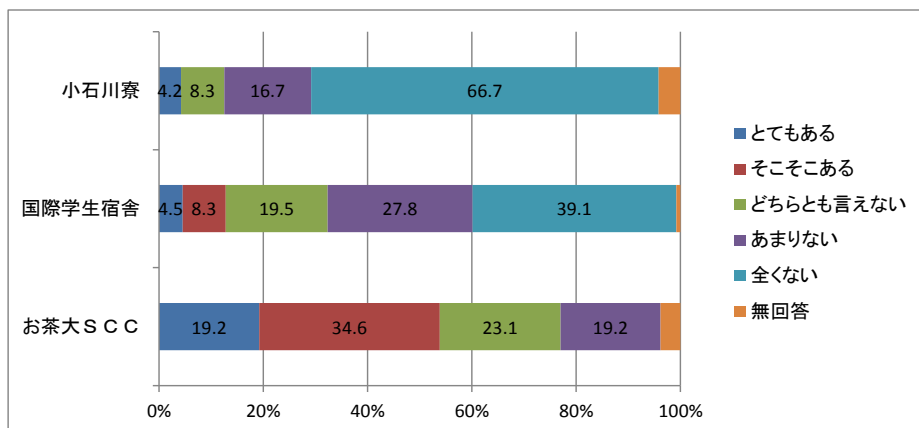


Figure34 寮の行事やパーティーなどを一緒に楽しむ

#### まとめと今後の課題

本稿では、3つの学生寮の寮生を対象に、生活実態や満足度を調査して、比較検討することを目的とした。その結果、主に以下のことが示された。

まず、入寮前の寮に関する情報は、諸経費、施設や設備などについては、どの寮でも比較的多く情報があつたが、管理システムや寮の規則については情報が

少なかったことが示された。このことから、今後、不足している情報を、印刷物やホームページ等で分かりやすく明示していくことが必要と考えられる。

また、寮の施設・設備の満足度は、お茶大S C Cでは全般的に高く、国際学生宿舎や小石川寮では全般的に低い傾向が示された。また、国際学生宿舎や小石川寮では、設備の問題にあわせて、使い方の問題も指摘されていることから、使用マナー等も呼びかけていく

必要があると考えられる。

さらに、寮の規則・寮費等の情報は、多くの寮生が認知しているものの、特に小石川寮では、寮の規則に対する不満や、設備・備品の使用に関する不満が多いことが示された。このことから、寮生のニーズも踏まえつつ、規則の必要性を説明し、明示していく必要があると言える。

また、寮の運営機関、非常時の対応等の情報は、一般的にあまり認知されておらず、各寮で周知させていく必要があることが示唆された。最後に、寮内の対人関係は、お茶大 SCC では様々な交流が行われている一方、国際学生宿舎や小石川寮では、交流の機会が少ないことが示された。これは、各寮のコンセプトを反映していると考えられるものの、国際学生宿舎や小石川寮でも希望者を募り、交流する機会を設け、今後は、3つの寮の交流を促していくことが課題と考えられる。

#### 参考文献

- 赤坂瑠以 (2010) 「アメリカの大学の学生寮視察調査：本学の学生寮への提案」『高等教育と学生支援—お茶の水女子大学教育機構紀要—』1: 49-55, 2010.  
(URL <http://hdl.handle.net/10083/50680>)
- 鈴木杏理・元岡展久・桂瑠以 (2012) 「女子大学学生寮における寮室と共用空間の構成」『高等教育と学生支援—お茶の水女子大学教育機構紀要—』2: 14-21, 2012. (URL <http://hdl.handle.net/10083/51764>)

#### 謝辞

本調査は、国立大学法人 お茶の水女子大学 学生支援センター「文部科学省特別経費プロジェクト・統合型学生支援システムの構築による女子高等教育機会の保証」(詳細は、<http://www.ocha.ac.jp/gss/index.html> を参照) に関わる調査の一環として行われた。ここに記して感謝の意を表すものである。

2013年2月15日 受稿